

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

1. 運用目的に合った運用目標及び運用方針

- KKRは、年金の積立金の運用において、各種法令等や財務大臣承認を受けて制定した管理運用の方針に基づき、組合員等の受益者の利益のため、運用目的、運用目標等を定め、長期的な観点から、安全かつ効率的に運用を行っています。国家公務員共済組合法施行令の一部改正等を受け、管理運用の方針の一部変更を行い公表しています。
(主な変更内容)
 - ・新たな投資対象として、匿名組合契約に基づく権利を追加しました。
 - ・サステナブルファイナンスに係る方針等の整理を実施するにあたり、議決権行使に関する規定について改正しました。
- 基本的な方針、運用手法等を明示するため、投資原則を公表しています。
- サステナブルファイナンスに対するKKRの姿勢を明確化する目的で、新たに責任投資方針を策定し、従来個別に行っていた取組みの体系化を行い、投資方針等の整備を実施しました（2026年4月1日公表）
- 職業倫理の向上を目的として、行動規範を改訂・公表しています。行動規範に基づく業務運営を徹底することで、ガバナンス体制の強化や運用力の向上を図り、持続可能な組織運営に取り組んでいます。

2. 運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保・体制整備

- 運用担当責任者の権限の明確化を図り、市場の変化に対し機動的に対応できるように体制整備を実施しています。理事等による監督の下、専門人材によるCIO（運用担当責任者）が設置されています。
- 適格機関投資家であることを、表明しています。
- 人材の確保について、経験者採用を実施したほか、職員の育成においては、内部職員による勉強会の実施、外部セミナーへの参加、証券外務員資格の取得奨励、証券アナリスト等の資格取得支援に取り組んでいます。

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

3. 運用方法の選択、投資先の分散をはじめとするリスク管理、最適な委託先の選定・見直し

- 運用方法の選択、投資先の分散のため、運用受託機関の選定にあたっては、原則としてマネージャー・エントリー制を活用し、常時、比較検討を行います。知名度や規模のみで判断とならないよう、採用基準において、規模（受託額実績、従業員数）や業歴（業務経験年数）に関する要件を撤廃し、引き続き門戸を広く開いた対応をしています。
- マネージャー・エントリー制のさらなる有効活用を図るとともに、金融機関等とのコミュニケーションを強化することを目的として、懇談会形式のイベントを開催しました。懇談会では、エントリーされている各社を対象に、KKRにおけるアセットオーナー・プリンシプルの取組状況、マネージャー選定に対する考え方、運用会社に期待する事項等について説明を行うとともに、ネットワーキングの機会を設けました。本イベントを通じて、運用受託機関との間で運用に対する考え方の共有が図られ、信頼関係の強化につながったほか、これまで契約関係のなかった運用会社とも対面でのコミュニケーションを行うことができ、KKRからのアクセスチャネルを拡充するきっかけとなる取組みとなりました。
- 運用および管理に関しては、各サービス内容に照らすと運用報酬と信託報酬の対応関係が分かりにくい面があることから、単独運用指定包括信託（指定単）について、投資一任契約と特定包括信託契約に切り替え、運用と管理を分離する方針を進めています。これにより、コスト構造や責任の所在の明確化が図られるとともに、運用会社や資産管理機関の機動的な見直しが可能になるものと考えています。
- 投資対象の多様化を踏まえ、オルタナティブ投資については、時間分散を図りながら着実に投資を進めています。その取組みの一環として、バンクローンおよび国内プライベート・エクイティを対象に、マネージャー・エントリー制による募集を実施し、運用受託機関の選定を行っています。今後、厚生年金の管理運用の方針で定められている積立金残高の上限5%の範囲内において、適切な投資水準を見極めつつ、段階的に投資を検討していきます。

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

3. 運用方法の選択、投資先の分散をはじめとするリスク管理、最適な委託先の選定・見直し

- 資産運用業務に対するけん制機能を高めるため、実際に運用を行っている資金運用部から独立した組織として「運用リスク管理室」を設置しています。
- 基本ポートフォリオに基づく運用リスク管理を根幹とし、市場リスク、流動性リスク、信用リスクなど各種リスクの管理について、資産構成割合の基本ポートフォリオからの乖離状況のほか、VaRやストレステストによる下方リスクの把握など、複線的なリスク管理を行っています。
- リスク管理ツールを活用したリスク管理・パフォーマンス分析やオルタナティブ投資の運用対象の多様化に伴うリスク管理の高度化の取り組みについては、外部のコンサルティング会社によるフィードバックを踏まえた品質管理も行い、定例モニタリング資料の見直しを継続しています。引き続きポートフォリオ全体のリスクを適切に計測・把握できるよう、リスク管理の強化を進めていきます。

4. 運用状況についての情報提供（「見える化」）

- 資産運用委員会の状況に関する情報提供（「見える化」）の一環として、議事次第および議事要旨の公表に加え、作成から7年後に公表する取扱いで議事録を作成しています。
- 国家公務員等の組合員向け広報誌に定期的に記事を運用状況のほか、アセットオーナー・プリンシプル、オルタナティブ投資、ポートフォリオ見直し等の記事を掲載しています。
- パネルディスカッション等のイベントへパネリストとして、CIOをはじめ職員が登壇することや、新聞等のインタビューに応じているほか、マスコミ等からの取材に対しては、状況に応じた対応を行い、運用担当者の見える化を進めています。
（パネリストの登壇等 6回、取材・インタビュー対応（新聞、通信社、業界紙等） 8回）

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

5. スチュワードシップ活動の実施、投資先企業の持続的成長に資する必要な工夫

- KKRでは、運用受託機関を通じてスチュワードシップに関する取組みを行っています。サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）を考慮した投資先企業とのエンゲージメントなどのスチュワードシップ活動の状況について、ミーティングなどを通じてモニタリング等を行い、スチュワードシップ活動報告として取りまとめ、公表しています。
- 運用受託機関の総合評価において、スチュワードシップ活動を含むサステナブルファイナンスへの取組みに関して評価方法を見直し、評価テーブルを作成することで、運用受託機関間の比較を可能とするとともに、パフォーマンス等の他の評価項目との整合性を確保しました。あわせて、質問票についても見直しを行い、運用受託機関の事務負担の軽減を図るとともに、最新の状況を適切に反映した内容へ更新しました。
- 第3回経団連・GPIFアセットオーナーラウンドテーブルが開催され、GPIF、地方公務員共済組合連合会（地共連）、日本私立学校振興・共済事業団（私学事業団）とともにアセットオーナーとして参加しました。アセットオーナー・プリンシプルを踏まえた取組みについて説明を行うとともに、経団連・企業側との意見交換を実施しました。
- 連合会と日本監査役協会との意見交換会が開催され、日本監査役協会役員と企業のガバナンスにおける監査役等の役割やアセットオーナーが持つ監査役等への期待や課題などについて意見が交わされました。
- 年金積立金の長期的かつ安定的な運用を通じて、受益者の利益および福祉の向上を図るという連合会の基本的使命を踏まえ、投資先企業および市場全体の持続的成長を重視する姿勢を明確にするため、責任投資方針を新たに施行しました。あわせて、コーポレートガバナンス原則の廃止および直近の状況を反映した株主議決権行使ガイドラインの改訂を行い、サステナブルファイナンスに係る体制整備を実施しました。（2026年4月1日公表）

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

(参考) 資料リンク先

- ・「アセットオーナー・プリンシプル」の受入れについて

https://www.kkr.or.jp/shikin/aop_ukeire.pdf



- ・「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針について

https://www.kkr.or.jp/shikin/aop_torikumi.pdf



- ・厚生年金保険給付積立金の管理運用の方針

https://www.kkr.or.jp/shikin/kounen_unyouhousin_R8.pdf



- ・投資原則（厚生年金保険給付積立金）

https://www.kkr.or.jp/shikin/tousigenosku_kounenR8.pdf



- ・年金積立金の運用業務に従事する役職員・資産運用委員会委員行動規範

<https://www.kkr.or.jp/shikin/koudoukihanR7.pdf>



- ・マネージャー・エントリー制 運用マネージャーの登録基準について

<https://www.kkr.or.jp/shikin/investment-me-bessi01.pdf>



- ・令和7年度業務概況書【厚生年金保険給付積立金】

https://www.kkr.or.jp/shikin/r07_4g_k.pdf



「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

(参考) 資料リンク先

・責任投資方針

https://www.kkr.or.jp/shikin/responsible_investment_policy.pdf



・令和7年度スチュワードシップ活動の報告（概要版）

https://www.kkr.or.jp/shikin/sustainable-finance/Stewardship_Activities_Summary2026.pdf



・令和7年度スチュワードシップ活動の報告（全体版）

https://www.kkr.or.jp/shikin/sustainable-finance/Stewardship_Activities2026.pdf



・株主議決権行使にかかるガイドライン

https://www.kkr.or.jp/shikin/giketsuken_guideline.pdf



・株式運用における貸株取引および利益相反管理等に関する規程

https://www.kkr.or.jp/shikin/kashikabu_riekisouhan.pdf



KKR 国家公務員共済組合連合会
Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations

<https://www.kkr.or.jp/shikin>

